

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公表番号】特表2011-503003(P2011-503003A)

【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【年通号数】公開・登録公報2011-004

【出願番号】特願2010-532319(P2010-532319)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

A 6 1 P 33/02 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/44 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/00 Z N A H

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 35/74 A

A 6 1 P 33/02

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/44

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月2日(2011.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

TRAPポリペプチドまたはその免疫原性フラグメントをコードする第一のポリヌクレオチド配列を含むワクチン。

【請求項2】

TRAPポリペプチドが配列番号:1、配列番号:2、配列番号:3、配列番号:1の免疫原性フラグメント、配列番号:2の免疫原性フラグメント又は配列番号:3の免疫原性フラグメントである、請求項1に記載のワクチン。

【請求項3】

CD40と結合することができるCD154ポリペプチドをコードする第二のポリヌクレオチド配列をさらに含み、前記CD154ポリペプチドが50未満のアミノ酸を含み、さらに配列番号:4のアミノ酸140 - 149またはそのホモログを含む、請求項1または2に記載のワクチン。

【請求項4】

CD154ポリペプチドが配列番号:5、配列番号:6、配列番号:7、配列番号:8、配列番号:9を含む、請求項3に記載のワクチン。

【請求項5】

ワクチンが、第一のポリヌクレオチド配列の2つ以上のコピー、第二のポリヌクレオチド配列の2つ以上のコピー、又は、その両方を含む、請求項3 - 4のいずれかに記載のワクチン。

【請求項6】

第一のポリヌクレオチド配列が第二のポリヌクレオチド配列にインフレームで連結される、請求項3-5のいずれかに記載のワクチン。

【請求項7】

第一のポリヌクレオチドがベクター内に含まれる、請求項1-6のいずれかに記載のワクチン。

【請求項8】

ベクターがウイルス、細菌およびリボソームから成る群から選択される、請求項7に記載のワクチン。

【請求項9】

ベクターが細菌である請求項8に記載のワクチン。

【請求項10】

細菌がその表面にTRAPポリペプチドを含む、請求項9に記載のワクチン。

【請求項11】

細菌が、サルモネラ属 (Salmonella) の種、バシルス属 (Bacillus) の種、エシェリキア属 (Escherichia) の種およびラクトバシルス属 (Lactobacillus) の種から成る群から選択される、請求項9または10に記載のワクチン。

【請求項12】

第一のポリヌクレオチドがトランスメンブレンタンパク質の外部部分をコードするポリヌクレオチド配列に挿入される、請求項1-11のいずれかに記載のワクチン。

【請求項13】

アピコンプレックス門寄生虫に対する非ヒト対象の免疫応答を強化するために有効な量で請求項1-12のいずれかに記載のワクチンを非ヒト対象に投与することを含む、アピコンプレックス門寄生虫に対する免疫応答を非ヒト対象で強化する方法。

【請求項14】

ワクチンが、経口、鼻内、非経口および卵内から成る群から選択される方法によって投与される、請求項13に記載の方法。

【請求項15】

免疫応答の強化が抗体応答の強化又はT細胞応答の強化を含む、請求項13-14のいずれかに記載の方法。

【請求項16】

非ヒト対象が家禽種のメンバー又は非ヒト哺乳動物である、請求項13-15のいずれかに記載の方法。

【請求項17】

ワクチンを含むベクターが非ヒト対象に投与する前に殺処理される、請求項13-16のいずれかに記載の方法。

【請求項18】

ワクチンを含むベクターが非ヒト対象で複製することができない、請求項13-17のいずれかに記載の方法。

【請求項19】

アピコンプレックス門寄生虫がアイメリア属 (Eimeria)、プラスモジウム属 (Plasmodium)、トキソプラズマ属 (Toxoplasma) およびクリプトスポリジウム属 (Cryptosporidium) から成る群から選択される、請求項13-18のいずれかに記載の方法。

【請求項20】

アピコンプレックス門寄生虫に対する非ヒト対象の免疫応答を強化するために有効な量で請求項1-12のいずれかに記載のワクチンを非ヒト対象に投与することを含む、非ヒト対象でアピコンプレックス門寄生虫の感染に関連する罹病率を低下させる方法。